

# 関東貨物協議会 (11月7日) 第23回定期委員会開催



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5  
交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 高野苗実  
編集責任者 伊藤隆夫

No. 705 定価 20円

2010年

12月 20日

第3回組織拡大標語  
最優秀作品  
国労加入で変えよう  
職場と労働条件

<http://www.e-nru.com>



## 委員発言

若い人が来ても乗務員になってしまい技術継承が出来ない状況だ。

・ 10月31日に退職者が1名となり、今日まで補充がされていない為、勤務が大変となっているので、早急に補充してもらいたい。

・ 将来的に嘱託職場になってしまうのではないかと。

・ 受委託解消で、貨物会社に戻ってくるが遠隔地からの通勤となり、交通費もかかる。

・ 千葉機関区で2名の拡大について、会社は接触をしないよう対応してきたが、全組合員が対応を行い加入となった。

・ 青年部も大変厳しい状況になっており、役員も大変であり職場に於いても青年部が1名という状態となっている。

・ 不採用問題、本人達の生活もあり今後の取り組みを。

・ ダイヤ修正が提案となったが、乗り継ぎ時間が入力されていない、支社提案のあり方にも問題もある。

・ 長野から首都圏に移動となった人が多くいる。長野に帰りたい人達もいるので把握してもらいたい。

・ 村井・西上田駅が3月に廃止の話がでている。

・ EF500(水戸)田端操)乗り入れ、墨田川駅改良工事(23年)に伴い、今後の水戸(派)の将来展望がどの様になっていくか不安である。

・ 要員過欠の状況を先をみすえて対応を行ってもらいたい。

・ 遠距離通勤者問題について対応されたい。

・ 新人社員の資質問題、会社に技術継承できる人材を入れてもらいたい。

・ 昇進試験について、公平・公正であるよう求めてもらいたい。

・ 不採用の解決について大変良かった、今後は雇用問題で厳しい状況だが、1,000円カンパを継続したらどうか。

・ 会社は事故対策・改善等、KYT・ヒヤリハットを上げれば済むという対応となっている。安全対策についての議論を高めてもらいたい。

・ 嘱託者が現行の仕事を引き続いて行うのは大変であるが、大変である。

・ プロパーの組織化について、北関東ロジは組合がない、現在106名以上いる。

・ 大宮車両所では年末手当の取り組みとして、カベ新聞を大きな版にして掲示し、宣伝行動を取り組んでいる。

・ 組織拡大の取り組みについては、国労の体力がある時に真正面から取り組むことが大変重要であり、分會も飲み機会だけではなく、アルコール抜きでの対応を取り組むこととしている。

## 新役員

議長 齋藤 勝 (関東保全技術センター)  
事務局長 吉田 秋雄 (新座夕駅)

\*副議長については、各地方定期委員会選出となります。

議長 齋藤 勝 (関東保全技術センター)  
事務局長 吉田 秋雄 (新座夕駅)

9月に開催した国労東日本本部定期大会以降、貨物(関東・東北)会社別協議会、運転、運輸、工務、工作の各職協定期委員会が開催されました。今号は、関東貨物協議会(11月7日)、工務協議会(11月20日)、工作協議会(12月4日)の委員会報告を掲載します。

関東貨物協議会、第23回定期委員会は11月7日(日)13時より新橋交通ビルに於いて、2010年春闘・期末手当・労働条件改善・組織の強化拡

大1等の総括と向こう一年間の闘いを提起し、活発な議論を通して意思統一を図った。委員会は齊藤副議長の司会で始まり、役員



8名中8名、委員18名、出席を確保し、委員会の成立宣言を行い、委員会議長に今年60歳を迎える坂本委員(東京)を選出し、議事にはいつた。齋藤

議長挨拶から始まり、来賓に東日本本部松井書記長、全国貨物協議会眞田議長、東北貨物協議会大越事務長からそれぞれ情勢等の挨拶をいただき、吉田事務長より経過報告・活動方針(案)について提案を行い、9名の地方委員からの発言を受け、議長集約して闘う一年間の方針が採択された。

長島副議長より委員会宣言(案)が提起され承認された。閉会挨拶で中山副議長から、今日の提起された方針に基づき、当面する闘いとさらなる組織拡大に全力を尽くすことを訴え、最後に齋藤議長が団結ガンバローで委員会が成功裏に終了した。

# 工務協・工作協が定期委員会開催

## 工務協一点検・顕在化・要求・改善へ

## 工作協一組織拡大・合理化事案に運動を

### 工務協 協議会

### 22回定期委員会



11月20日、本部3F会議室において、東日本工務協議会第22回定期委員会が開催されました。今定期委員会での特徴的な議論は、9年前に実施された「設備・電気部門におけるメンテナンス体制の再構築」を経て、今年1月15日に提案された「メンテナンス体制の改善」合理化地方交渉等の取り組みの特徴点についてでし

た。会社提案でとりわけ人材育成の強化・技術力の維持向上・相互連携によるメンテナンスレベル向上等が強調されつつも、業務執行体制の変更により管理科から線路科に名称変更とエリア別軌道管理・派出等の新設、簡易な作業の継続実施・分岐器検査の一部直轄化と線路閉鎖業務の見直し等々、

### 工作協 協議会

### 23回定期委員会



12月4日工作協議会第23回定期委員会を交通ビル3階会議室で開催しました。当日はダイヤ改正日にあたりましたが、強風の影響で新幹線ダイヤが大幅に乱れ、当初13時の開催を20分繰り下げての開催

となりました。下平副議長（長野）の開催挨拶で始まった委員会は、議長に仙台地本選出の橋本（守）委員（郡山）を選出し議事が進められました。協議会を代表して挨拶した

一層の効率化も画策されています。その上、競合作業把握システム等を試行で入れて職場定着した、との判断で自らの教育不足を顧みず「余力として抱え込み」施策実施時に「ほぼ要員増無し」で交渉を切り上げるために東労組を使い、交渉スケ

ジュール調整さえ「公平・公正」の微塵もない状態が多くの地方で作りに出されてきました。報告を受ける中から私たちはこのような現状を変えるべく、点検活動から顕在化、そして要求化から改良の取り組みにつなげる、職場からの活動強化を確認しあってきました。

小野議長（大宮）は、①JR不採用事件の経過と解決に向けた取組みについて、②東日本会社で提案されている「グループと会社一体となった業務体制の更なる推進について」、③貨物会社の状況と手当てを巡る問題について、④組織強化・拡大についての挨拶。来賓として東日本本部松井書記長から、①東日本本部を巡る状況と今後の運動展開について、②外注化問題について、③他労組の状況について等報告を受け、運輸協議会本立議長からは、共に手を携えて改善に向けて運動を行う激励の挨拶がありました。

その後佐藤事務長（東京）から、2009年度の経過報告と2010年度運動方針（案）の一括提起を行い、決算・監査報告ののち委員会を一旦休会し方針を補強する立場から第56回工場・車両所代表者会議を開催し、①各支部大会の特徴点について、②各支部・車両所の状況について、③組織強化・拡大についてなどの報告を受けました。各工場・車両所からの報告を受け委員会を再開し、佐藤事務長からは、①「グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進について」の各支部・分会の取り組みの強化と運転・工作作成のチラシの活用、②請負業務のあり方についての調査活動と要求化をしながら交渉を行い改善を求め、③組織強化・拡大について、経験交流会などを生かしながら全組合員参加の運動にしていく、④グループ会社やエルダー社員の労働条件改善に向けて、各地方本部などとの連携の強化を図り、要求にして改善を求め運動を行うとのまとめを行いました。まとめを受け全体の拍手で2010年度方針（案）を承認したのち、役員改選では全役員が留任し第23回定期委員会を終了しました。

**がん予防検診から治療まで、とことん支援!**

がん検診から治療まで、とことん支援!

ご契約は満60歳まで

健康支援金をプラス!

通院も入院も同額保障!

がんの保障 + 病気・ケガの保障

21世紀がん保険 第3のMAX21

新登場!

**新健康応援団MAX**

メディカルチェック+

■専属代理店

**アベニール 株式会社** 〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

☎03-3437-6810 ☎03-3437-6822

(引受保険会社)

**Affac** (アメリカンファミリー生命保険会社)

東京第三営業本部 第三支社  
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル  
Tel.03-3344-1889 Fax.03-3344-4036

資料請求いただいたお客様の個人情報利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

◎詳しくは、パンフレットや「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。